

先進組合 事例紹介

認定制度創設による プロフェッショナル人材の育成

組合を中心に行政や関係機関との連携及び推進体制が構築できたこと。
有資格者に対する研修会開催や情報提供、有資格者同士が繋がる機会を提供できたこと。

組合概要

四国タオル工業組合

●住所 〒794-0033 愛媛県今治市東門町5丁目14-3 ●電話番号 0898-32-7000 ●FAX番号 0898-32-3842 ●設立 昭和27年11月 ●出資金 132,880千円 ●組織形態 産地組合 ●地区 愛媛県 ●主な業種 繊維工業 ●組合員 112社 ●組合専従者 7人(うち専従理事 1人)

■背景・目的

近年、タオル輸入品が急増し国産タオルが売れなくなった理由は、国産タオルの正確な品質の知識など販売員のスキル不足により、輸入品との価格競争に落ち込んだのが一つの要因であり取り組むべき課題であった。また、衰退する産地には技術の承継者が育たず将来を担う人材確保も難しい状況であり、人材の育成と確保も課題であった。このため組合では認定制度創設によるプロフェッショナル人材の育成に取り組むことにした。

■取組みの手法と内容

今治商工会議所と共同して平成19年度に世界初となる「タオルソムリエ資格制度」を立ち上げた。この制度はタオルに関する「歴史」「文化」「技術」「製品」「顧客サービス」「ブランド」等多岐にわたるタオルに関する習熟度を認定する資格試験制度である。認定によりタオルについて正しく理解し、その知識とスキルを活かして、より良いタオル文化の普及に繋げるプロフェッショナル人材を育成するとともに、全国にタオルの魅力を発信していくことを目的として実施している。

また、技術承継や人材確保の課題を解決するために、優れた技術者にマイスターの称号を授

与し顕彰する「タオルマイスター制度」を創設した。この制度の資格要件の一つに社内技能検定合格者としている。社内技能検定はタオル製造に関する知識・技能を客観的に評価することで若手人材の確保及び育成と、伝統ある技術の次世代への円滑な継承を目指し、ものづくり技術の更なるレベルアップを図り、タオルマイスターの輩出を目指すことを目的として実施している。この社内技能検定は厚生労働省認定の技能検定であり、これにより技能振興上奨励すべきものとして認められ、社内技能検定の合格が技術者の目標となっている。

■成果

タオルソムリエ資格制度は平成27年に第10回目を実施し、全国で2,307名となった。東京地区での合格者が今治地区を上回りプロフェッショナル人材が全国に広がっている。社内技能検定は平成27年に第5回目を実施し合格者が延べ30名以上となっている。

四国タオル工業組合では、有資格者に対する研修会開催や情報提供、有資格者同士が繋がる機会を提供しており、今後も有資格者の拡大が期待される。



社内技能検定



タオルソムリエ研修会